

令和
5年度
決算

八戸市のお金のつかい方

固財政課 43-2154

市では毎年、1年間の歳入(収入)と歳出(支出)の結果をとりまとめた決算の状況について公表しています。
これからも安定した財政運営を継続していきますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

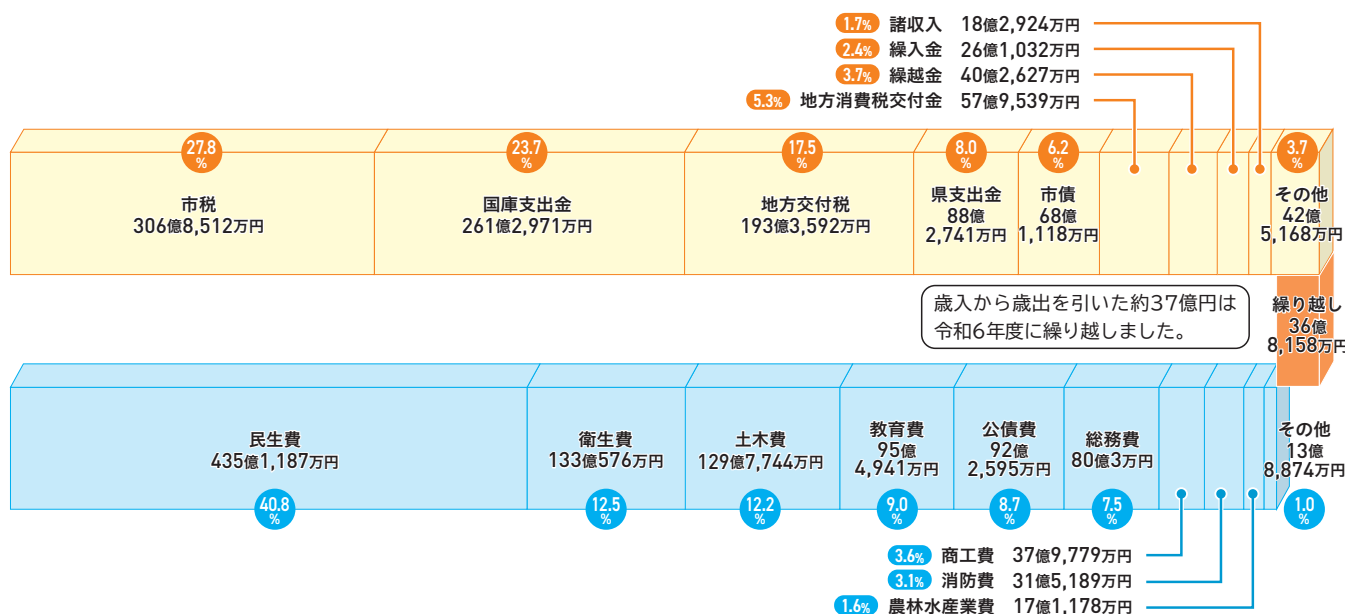
一般会計

福祉や教育、公共事業など、市の基本的事業の収入・支出を経理する会計です。
※()内は対前年度比



詳しくは
こちら

歳入 1,103億224万円 (15億3,003万円↑)



歳出 1,066億2,066万円 (18億7,472万円↑)

【主な使い道】

民生費(21億3,240万円↑)

- 住民税非課税世帯や子育て世帯などへの給付金
- 高齢者などへのバス特別乗車証の交付
- 認定こども園などへの運営費の支給



衛生費(18億5,439万円↓)

- 新型コロナウイルスなどのワクチン接種
- 子ども医療費の助成
- ごみの収集運搬



土木費(13億6,835万円↑)

- 十三日町・十六日町地区再整備への支援
- 新大橋の整備
- 道路照明灯のLED化



教育費(2億2,722万円↑)

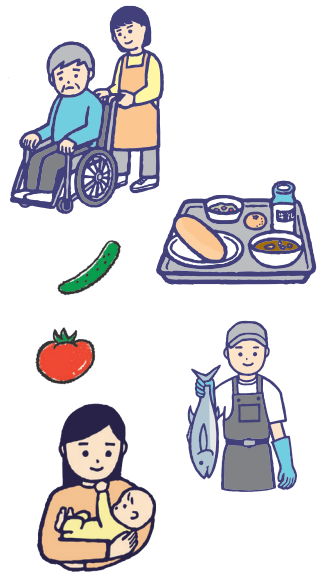
- YSアリーナ八戸・美術館などの管理運営
- 世界ジュニアスピードスケート選手権大会の開催支援
- 小・中学校への冷房設備の設置



特別会計

一般会計とは別に、特定の事業における収入と支出を経理する会計です。
市には12の特別会計があります。

会計名	歳入	歳出	差し引き
介護保険	223億4,078万円	218億6,598万円	4億7,480万円
国民健康保険	219億8,596万円	213億7,810万円	6億 786万円
後期高齢者医療	31億6,664万円	30億8,498万円	8,166万円
産業団地造成事業	22億4,102万円	22億4,057万円	45万円
学校給食	21億8,159万円	21億5,292万円	2,867万円
都市計画土地地区画整理事業	14億5,401万円	13億9,216万円	6,185万円
地方卸売市場八戸市魚市場	2億9,465万円	2億6,122万円	3,343万円
中央卸売市場	2億5,662万円	2億4,873万円	789万円
国民健康保険南郷診療所	1億9,412万円	1億7,150万円	2,262万円
駐車場	1億8,477万円	1億7,188万円	1,289万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	9,418万円	8,614万円	804万円
霊園	5,457万円	5,013万円	444万円



財政指標

地方自治体の財政が健全に運営されているかどうかを判断する指標として、「健全化判断比率」と「資金不足比率」があります。

【健全化判断比率】

指標	内容	八戸市	財政健全化法における基準	
			早期健全化基準 (黄色信号)	財政再生基準 (赤信号)
実質赤字比率	一般会計を中心とした赤字の割合	赤字なし	11.25%	20%
連結実質赤字比率	全ての会計を合算した赤字の割合	赤字なし	16.25%	30%
実質公債費比率	市税など、使いみちの特定されない歳入に対する負債返済額などの割合	9.2%	25%	35%
将来負担比率	市税など、使いみちの特定されない歳入に対する将来負担すべき負債の割合	91.1%	350%	—

国が定める
基準をクリア
しています



【資金不足比率】 ※公営企業の資金不足額を営業収益規模と比較した割合

公営企業は、資金不足比率が経営健全化基準の20%を超えると、経営健全化のための計画をつくり、経営の立て直しに取り組む必要があります。市では4年度に引き続き、資金不足額がない状態です。

なお、自動車運送事業(市営バス)、市民病院事業、下水道事業の収支決算報告については、次ページをご覧ください。

お金の使い道

市民1人当たりの支出額は49万2,000円(対前年度比1万5,000円増)でした。

※3月末の人口をもとに一般会計で計算

使い道	1人あたりの支出額
高齢者や障がい者、子どもの福祉など	20万1,000円
保健、医療、ごみ、し尿処理など	6万1,000円
公園、道路、河川の整備など	6万円
学校教育や生涯教育など	4万4,000円
市債(市の借入金)の返済	4万3,000円

使い道	1人あたりの支出額
戸籍証明書発行などの窓口業務、選挙など	3万7,000円
商工業の振興など	1万8,000円
消防、救急など	1万5,000円
農林水産業の振興など	8,000円
議会、雇用対策など	5,000円

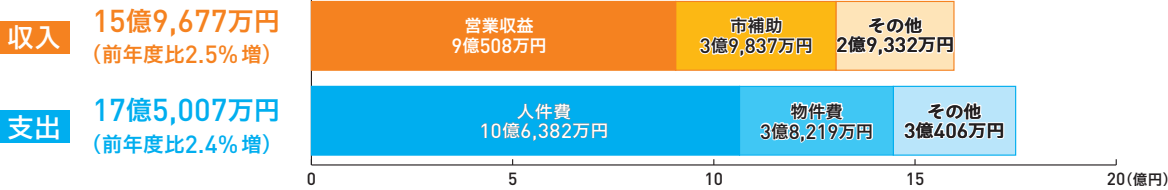
企業会計

市営バス 国運輸管理課 ☎25-5141

市営バスは、毎日、多くの皆さんから通勤・通学・買い物などにご利用いただいておりますが、バス事業を取り巻く環境は依然として厳しく、交通手段の多様化、人口減少・少子化の進行などに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響による移動需要の変化により、運送収益は大幅に減少しています。今後も、皆さんに利用してもらえるよう、より一層の利便性向上(乗降データを活用したダイヤ編成など)に取り組むとともに、信頼され親しまれる市営バスを目指していきます。

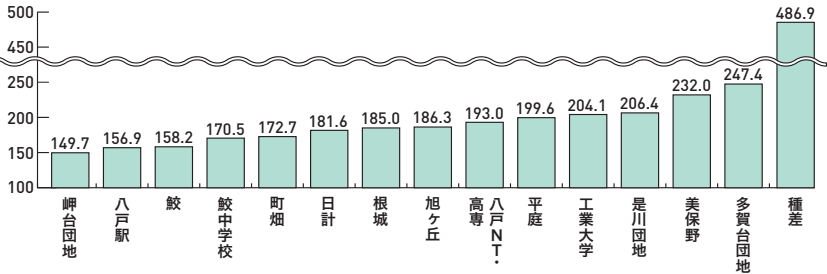
【利用者数】514万6,455人(一日平均1万4,061人)で、前年度より0.2%減少しました。

収入 - 支出 = -1億5,330万円 過去からの累積損失 = 8億1,699万円



路線別営業係数グラフ

営業係数とは、100円の収入を得るためにかかる費用のことです。100未満なら黒字、100を超えれば赤字であることを表しています。



5年度の路線別営業成績は、15路線全てが赤字路線となりました。

市民病院 国市民病院管理課 ☎72-5111

市民病院は地域の中核病院として、住民の生命と健康を守るため、救命救急医療、周産期医療などの急性期医療および高度で専門的な医療を中心に、感染症医療や緩和医療などの政策医療も担い、幅広い医療を提供しています。今後も健全経営の維持と質の高い医療の提供に努めていきます。

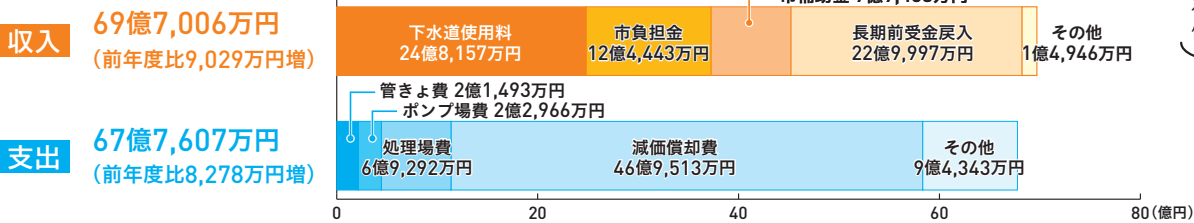
収入 - 支出 = 1億7,418万円 未処分利益剰余金^(※) = 25億9,987万円 (※)利益を積み上げたもの



下水道 国下水道業務課 ☎44-8259

下水道事業では、ご家庭や工場などから排水された汚水を受け入れ、きれいな水へと処理しています。また、市街地に降った雨水を速やかに排水することで、市民の皆さんの衛生的な生活環境の確保と浸水被害の解消に貢献しています。

収入 - 支出 = 1億9,399万円 過去からの累積利益 = 7億6,554万円



今後も健全経営に努め、安定的な下水道サービスを提供していきます。

